



発行所 小松高等学校
編集 PTA文教科
責任 総務厚生課



校章の由来
松に囲まれた小松高校を
抽象化した松の絵に小松
の「小」と「高」を配した。

積微力行



一年間を振り返って...

PTA会長

藤原 芳宏



今年度もあと少しで終わろうとしています。日頃より保護者の皆様には、PTA活動に対し御理解と御協力をいただいております。また、教職員の方々には様々な活動に積極的に御協力いただいておりますこと、お礼申し上げます。

この一年、PTA会長という大役を引き受け、様々な活動を通じて生徒達や会員の皆様、役員や教職員の皆様と交流の場を作ろうと思ひ、PTA活動目標「かけがえのない今を、悔いのない未来へつなぐ」としてスタートした今年度でした。PTA総会が書面開催になり、第一・二回竹林整備、PTA研修旅行が中止になり、そしていろいろな講義や講習会も中止や書面開催になりました。この一年間どうだったのかと思ひましたが、夏頃から新型コロナウイルス感染症が落ち着きを始め、そして二学期がスタート、体育祭は開催も危ぶまれましたが競技時間や内容と観覧に制限を考え開催になりました。PTA活動としても参加することができ、例年だとかき氷も販売しますが、感染対策としてドリンクのみの販売となりました。参加していただいた役員さんの協力もあり貴重な活動ができて良かったと思ひます。

11月6日のウォークラリー大会は、参加制限で残念ながらPTAの参加はできませんでした。

11月15日の第三回竹林整備では、竹林をよくする会の方々を招き指導の下で竹を切り出し、粉碎機で竹チップとしていく作業をPTA、教職員、生徒、役員OBやボランティア総勢約50名が汗を流しました。感染対策として作業終了後の炊き込みご飯での交流会はできませんでしたが、皆様の協力で生い茂っていた竹林がすっきりしました。参加していただいた方々大変ありがたうございました。

この一年間振り返ってみると対策と対応に振り回された一年でした。そんな中でも活動できた事は役員の皆様と教職員の方々の協力があったからだと思ひます。一緒に楽しく活動できる仲間と出会えたこと、いつも全面的に協力して下さいました教職員の皆様に感謝しています。まだまだ油断のできない時期が続きますが、小松高校だから乗り越えていけると信じています。

最後に、これからもPTA活動への取組に、更なる御理解と御協力を賜りますよう心よりお願い致します。

生徒たちの力を信じて

校長

森岡 淳二



御協力を賜りましてありがとうございます。心より感謝申し上げます。

さて、今年度を振り返ってみますと、一学期の学校行事はほとんど実施できなかったものの、二学期以降、体育大会や文化祭、ウォークラリー大会、クラスマッチ、探究活動発表会やインターンシップなど、各部署が知恵を出し合い、数々の学校行事を実施することができました。感染症対策のため、保護者の皆様には、その都度、柔軟な対応をしていただいたことに、改めて感謝申し上げます。これらの学校行事を通して、生徒たちは、また着実に成長したように思ひます。例年と同じことができない無念さや、思うように進まない苛立ちもあったことでしょう。しかし、二百有余年の教育の歴史を見守ってきたこの養正が丘には、今年も変わらず数々のドラマがありました。

生徒会主催の学校行事は、生徒会役員を中心として全校生徒の意見を集約し、担当教員と協議・調整を繰り返しながら計画を立てて実施しました。体育大会では、グループリーダー、体育委員らが意見を出し合い、競技や応援、装飾について、精選したり新設したり、また、実施方法の工夫の検討を入念に行いました。体育大会決意表明では、僕たち次第で最高の体育大会にできる「笑顔で終わるように頑張ろう」という決意や、「二・三年生にとっても楽しい体育大会になるように精いっぱい頑張ろう」という下級生への配慮、そして「厳しい状況の中でも体育大会を実施できるのは、先生方や生徒の皆さんが日頃から感染対策をしっかりと行っているおかげ」という感謝の気持ちを述べてくれました。本当に頼もしい限りです。

また、小松高祭では、体育館の密を避けるために

考案した新生フアッションショーや中庭コンサートなど大いに盛り上がりました。少しでも生徒が参加する場面を増やそうと新設した三年生の感謝のメッセージ、二年生の愛顔（えがお）あふれる感謝のエピソードでは、温かい心が溢れており、生徒たちに尊敬の念を抱きました。生徒たちが現状を理解し、工夫して、今できることに精いっぱい取り組み、すべての行事を成功裏に終えることができたことに感謝します。生徒の皆さん、ありがとうございます。

これから到来するというSociety 5.0時代に生きるには、進化する科学技術を恐れず使いこなす力量を身に付けなければなりません。現実には真摯に向き合い、学び続ける姿勢が必要で、そして、時代に合った必要なものを取り入れていくしなやかさも必要です。現在のコロナ禍社会を生きることは、未来の社会をどう生きるかを試されているような気がしています。

自主的に物事に取り組み、試行錯誤しながら実現し、自分に自信が持てる人を育てる。その土台は豊かな体験だと思ひます。そしてそれを後押しするのは、教師や友達であったり、家族であったり、地域の大人であったりです。できる限り体験が多い中で育てたい。成功体験だけでなく、失敗体験からも学んでいくのです。そこには見守りが大切で、過剰な口出しをせず（放任とは違います）、失敗してもまたチャレンジしたくなるように、どう声をかけるかが大事だと思ひます。もっと子どもたちの力を信じて、子どもを肯定し尊重する大人でありたいと思ひています。

今年度から、養正会の御協力をいただいて、学校で受検する実用英語技能検定の一部（四〇％）を補助しています。延べ百八人の生徒がこの制度を活用して、実生活の様々な分野で応用できる力があると認められる二級に合格するなど、成果を上げています。学習も部活動も地域協働も、生徒たちによる気と自信の種を持たせ取組に力を入れたと思ひます。今後も、志高く自己を鍛える小松高生を強力にバックアップする環境整備を進めてまいります。

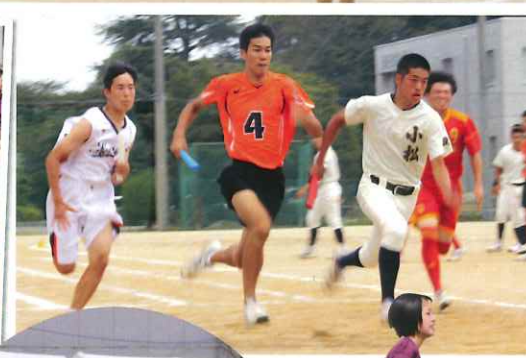
今後とも小松高校発展のため、皆様の御協力・御支援をお願い申し上げます。

体育大会

令和二年九月三日

三年生の保護者
約二百名に見守られ、
規模を縮小しながらも、
予定通り挙行され
ました。

総合優勝
〈青風〉グループ
応援優勝
〈紅炎〉グループ
競技優勝
〈青風〉グループ
装飾優勝
〈青風〉グループ





小松高祭

「Memories かけがえない思い出を胸に刻もう」をテーマとし、生徒の学習活動や部活動の成果を発表し、豊かな情操を身に付けるとともに、プレゼンテーション能力を育てることを目標に以下の行事を行いました。



小松高祭の翌日、野球部は四国大会で勝利を収めました。

- 日本音楽部による演奏
 - ライフデザイン科の生徒によるファッションショー
 - 文化部・各種委員会・生徒会・クラスによる作品展示・研究発表
 - クラス・家庭クラブ・PTAによるバザー（多肉植物の寄せ植え）
- 充実した内容で、日頃の学習や活動の成果を存分に発揮することができました。



本校卒業生、一色龍太郎氏が、写真集「石鎚山に抱かれて」を出版し、愛媛新聞でも紹介されました。西日本最高峰の石鎚山と、それに連なる石鎚山系の山間に住む素朴な人々の暮らし、受け継がれる伝統文化や遺産、自然などで構成された写真集です。

10月30日(金)に行われた小松高祭で、養正会館にて、一色龍太郎氏の写真展を開催しました。一色氏も来校され、来場された保護者やOB、生徒たちに写真の解説を一枚ずつ丁寧にしていただきました。

ウォークラリー大会

11月6日(金)、今年で11回目を迎えたウォークラリー大会。小松高校から石鎚ふれあいの里までの往復22kmの道のりを歩きました。目的は、①長時間粘り強く歩くことにより、自分自身の弱い心や甘い気持ちに打ち勝つ「気力」「精神力」を養成すること、②完歩・走破することにより、日常生活では体験できない体力的・精神的な自信を培うこと、③自然の中を歩くことにより、郷土の自然の良さを知ること、④地域のひととの触れ合いや仲間との協力を通して、社会道徳などを身に付けること、です。

天候にも恵まれ石鎚山系の美しい風景を満喫しながら、それぞれのペースで楽しく踏破しました。新型コロナウイルス感染症対策のため開・閉会式はマスク着用を徹底し、スポーツ飲料やお茶で水分補給は各自で行いました。折り返しの石鎚ふれあいの里では、休憩と簡単な栄養補給を行うと、生徒たちはゴールを目指しました。



竹林整備

11月15日(日)に、第3回竹林整備が校内の竹林で行われました。西条市の「竹林をよくする会」の方々に来校していただき、指導を受けながらPTA、教職員、生徒など総勢約50名が竹を切り出し、粉碎機で粉碎し、竹林を整備しました。

例年なら、作業の間にPTAの方々が炊き込みご飯を作ってくださるのですが、感染症対策として、今回は作業のみとなりました。休憩を二度はさみ、約3時間の作業は大変でしたが、地域の方と協働して充実した内容となりました。

今年は、第1グラウンドの下辺りを中心に整備していきました。令和3年度は東側を整備する予定です。生徒たちと共に汗を流せることを期待しています。朝早くから御協力ありがとうございました。



公開授業

11月9日(月)～13日(金)の5日間は、教員が相互に授業を参観するとともに、保護者等にも公開する相互参観・公開授業週間でした。



参観者も机間指導するなど、授業時間がそのまま研修時間ともなりました。授業改善及び授業力の向上を図るための研修を、効果的に実施することができました。



編集後記

コロナ禍でも柔軟に活動できたのは、皆様のご協力のおかげです。一年間、そして三年間ありがとうございました。

川 又 ゆかり

今年度は、コロナ感染症対策の為にPTA活動にも規制が掛かり、例年のような活動ができませんでしたので残念でした。来年度は、普段通りの活動が出来るように願っています。卒業される役員の方は、お疲れ様でした。

高 橋 宏 明

自粛、自粛でしたが、前向きに活動している生徒の笑顔が印象的で、私も楽しく活動させてもらいました。ありがとうございました。

高 市 佳 代

三年間お世話になりました。いろいろな体験させていただき、とても楽しかったです。ありがとうございました。

渡 部 恵 美 子

今年は、PTAの活動が少ない中でも、色々な経験ができ、楽しい一年になりました。ありがとうございました。

渡 部 綾 子